



2018年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2017年7月28日

上場会社名 株式会社 小松製作所
 コード番号 6301 URL <https://home.komatsu.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 徹二
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 本多 孝一
 四半期報告書提出予定日 2017年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

上場取引所 東

TEL 03-5561-2616

(百万円未満四捨五入)

1. 2018年3月期第1四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第1四半期	561,211	44.2	52,407	75.9	48,094	98.7	36,395	133.5
2017年3月期第1四半期	389,252	△12.7	29,789	△40.1	24,202	△52.5	15,588	△52.1

(注)四半期包括利益 2018年3月期第1四半期 53,864百万円 (—%) 2017年3月期第1四半期 △81,821百万円 (—%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第1四半期	38.59	38.54
2017年3月期第1四半期	16.54	16.52

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期第1四半期	3,255,520	1,673,840	1,599,693	49.1	1,696.26
2017年3月期	2,656,482	1,648,515	1,576,674	59.4	1,672.01

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2018年3月期	—	—	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	29.00	—	29.00	58.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,135,000	18.4	156,000	△10.4	141,000	△15.3	92,000	△18.9	97.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 4 社 (社名) 、 除外 0 社 (社名)

コマツマイニング(株)

Joy Global Australia Holding Company Pty Ltd

Joy Global Longview Operations LLC

Joy Global Underground Mining LLC

(注)詳細は添付資料5ページ「(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社(特定子会社)の異動」をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更

: 無

(注)詳細は添付資料5ページ「(3)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2018年3月期1Q	971,967,660 株	2017年3月期	971,967,660 株
2018年3月期1Q	28,898,830 株	2017年3月期	28,984,435 株
2018年3月期1Q	943,023,928 株	2017年3月期1Q	942,686,613 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 5
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 5
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
（1）四半期連結貸借対照表	P. 6
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
（4）継続企業の前提に関する注記	P. 10
（5）セグメント情報	P. 10
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツは、2019年3月期をゴールとする3カ年の中期経営計画「Together We Innovate GEMBA Worldwide -Growth Toward Our 100th Anniversary (2021) and Beyond-」を掲げ、①イノベーションによる成長戦略、②既存事業の成長戦略、③土台強化のための構造改革、を重点項目として活動しています。

2018年3月期第1四半期（2017年4月1日から2017年6月30日まで）の連結売上高は5,612億円（前年同期比44.2%増）となりました。建設機械・車両部門では、中国やインドネシアをはじめ多くの地域で需要を着実に取り込んだことに加え、本年4月に買収を完了した米国の大手鉱山機械メーカーであるジョイ・グローバル社（新社名「コマツマイニング（株）」）の新規連結の効果もあり、売上げは前年同期を大幅に上回りました。産業機械他部門では、ワイヤーソーの販売減少などがあったものの、自動車業界向けの鍛圧機械および工作機械の販売が増加したことから、売上げは前年同期を上回りました。

利益につきましては、ジョイ・グローバル社の買収に係る一時費用が発生したものの、各地での売上の増加により、営業利益は524億円（前年同期比75.9%増）となりました。売上高営業利益率は前年同期を1.6ポイント上回る9.3%、税引前四半期純利益は480億円（前年同期比98.7%増）、当社株主に帰属する四半期純利益は363億円（前年同期比133.5%増）となりました。

（金額単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間 [A] 1ドル = 109.8円 1ユーロ = 124.3円 1元 = 16.9円	当第1四半期 連結累計期間 [B] 1ドル = 111.2円 1ユーロ = 121.6円 1元 = 16.3円	増減率 % [(B-A)/A]
売上高	389,252	561,211	44.2
建設機械・車両	345,166	515,063	49.2
リテールファイナンス	11,863	17,552	48.0
産業機械他	34,775	38,669	11.2
消去	△ 2,552	△ 10,073	-
セグメント利益	29,000	52,999	82.8
建設機械・車両	26,387	47,984	81.8
リテールファイナンス	1,885	3,325	76.4
産業機械他	1,708	2,372	38.9
消去又は全社	△ 980	△ 682	-
営業利益	29,789	52,407	75.9
税引前四半期純利益	24,202	48,094	98.7
当社株主に帰属する四半期純利益	15,588	36,395	133.5

(注) 1. セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

2. 当第1四半期連結累計期間の数値には、本年4月より新たに連結に加わったコマツマイニング(株)の業績を含みます。

部門別の概況は以下のとおりです。

【建設機械・車両】

建設機械・車両部門の売上高は5,150億円（前年同期比49.2%増）、セグメント利益は479億円（前年同期比81.8%増）となりました。

本年4月より、コマツマイニング（株）がコマツグループに加わりました。超大型の露天掘り向け鉱山機械や坑内掘り向け鉱山機械など、コマツがこれまで保有していなかった製品を新たにラインナップに加え、鉱山機械事業の拡大を図ります。

2015年2月にスタートした建設現場向けソリューション事業「スマートコンストラクション」を着実に推進し、本年6月末現在で3,300を超える現場に導入しました。同事業については、本年7月、お客様の利便性向上を目指し、米国のトリンプル社とコマツがそれぞれ持つ3次元地形現況データの相互交換・接続サービス実現に向けた共同開発を開始しました。さらに、建設生産プロセス全体を一元管理して最適化するためのオープンな新プラットフォーム「LANDLOG（ランドログ）」を、（株）NTTドコモ、SAP ジャパン（株）、（株）オプティムと共同で、本年10月より提供開始予定です。コマツはこれからも、より安全で生産性の高い未来の現場の実現を加速させていきます。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）

（金額単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間 [A]	当第1四半期 連結累計期間 [B]			増 減	
		合計	コマツマイニング [*] （株） 除く	コマツマイニング [*] （株）	金額 [B-A]	増減率 % [(B-A) / A]
日本	59,657	69,161	69,161	—	9,504	15.9
北米	75,641	116,024	84,758	31,266	40,383	53.4
中南米	49,027	72,286	56,726	15,560	23,259	47.4
米州	124,668	188,310	141,484	46,826	63,642	51.0
欧州	35,820	43,056	38,560	4,496	7,236	20.2
CIS	15,603	27,685	26,808	877	12,082	77.4
欧州・CIS	51,423	70,741	65,368	5,373	19,318	37.6
中国	18,733	38,304	34,378	3,926	19,571	104.5
アジア ^(※)	40,246	64,103	63,355	748	23,857	59.3
オセアニア	24,049	45,121	34,852	10,269	21,072	87.6
アジア ^(※) ・オセアニア	64,295	109,224	98,207	11,017	44,929	69.9
中近東	9,195	7,403	7,403	—	△ 1,792	△ 19.5
アフリカ	15,462	27,855	21,017	6,838	12,393	80.2
中近東・アフリカ	24,657	35,258	28,420	6,838	10,601	43.0
合計	343,433	510,998	437,018	73,980	167,565	48.8

（注）（※）「アジア」は日本および中国を除きます。

地域別の概況は以下のとおりです。

<日本>

主にレンタル業界向けを中心に、新排出ガス規制実施前の需要増により、売上げは前年同期を上回りました。

<米州>

北米ではエネルギー関連事業向けを中心に、中南米においてもアルゼンチンやメキシコを中心に、一般建機の需要が増加したことに加え、コマツマイニング（株）の新規連結の効果もあり、米州では売上げは前年同期を大幅に上回りました。

<欧州・CIS>

欧州では、主要市場であるドイツを中心に需要が堅調であり、売上げは前年同期を上回りました。

CISでは、金鉱山を中心に鉱山向け需要が引き続き好調であり、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

<中国>

全国的にインフラ工事が進行し、一般建機の需要が引き続き伸長したことから、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

<アジア・オセアニア>

アジアでは、石炭価格の上昇に伴い、最大市場であるインドネシアで鉱山機械の需要が増加したことから、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

オセアニアでは、鉱山機械の需要が増加したことなどに加え、コマツマイニング（株）の新規連結の効果もあり、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

<中近東・アフリカ>

中近東では、原油安を受けた政府の緊縮財政の影響などにより、湾岸諸国の需要が減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

アフリカでは、南アフリカでの鉱山向け需要が増加したことなどに加え、コマツマイニング（株）の新規連結の効果もあり、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

【リテールファイナンス】

リテールファイナンス部門では、チリでの売上増加などに伴い、売上高は175億円（前年同期比48.0%増）となりました。セグメント利益は、中国での引当金計上の影響がなくなったことなどに伴い、33億円（前年同期比76.4%増）となりました。

【産業機械他】

産業機械他部門では、ワイヤーソーの販売が減少したものの、自動車業界向けの鍛圧機械および工作機械の販売が増加したことなどにより、売上高は386億円（前年同期比11.2%増）となりました。セグメント利益は23億円（前年同期比38.9%増）となりました。

コマツ産機（株）では、本年7月に開催された「MF-Tokyo2017（第5回 プレス・板金・フォーミング展）」において、IoT生産支援プラットフォーム「KOM-MICS（Komatsu Manufacturing Innovation Cloud System）」や、新型3次元ファイバーレーザー加工機などを出展し、引き続き拡販に努めました。また、ギガフォトン（株）では、事業規模拡大に合わせ、昨年より建設中だった新社屋が本年6月に完成しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

＜財政状態＞

当第1四半期連結会計期間末は、コマツマイニング（株）の新規連結などにより、総資産は前期末に比べ5,990億円増の3兆2,555億円となりました。有利子負債残高はジョイ・グローバル社の買収資金調達などにより、前期末に比べ4,425億円増の8,513億円となりました。また、株主資本は前期末に比べ230億円増の1兆5,996億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前期末に比べ10.3ポイント減の49.1%となりました。

＜キャッシュ・フロー＞

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資本が増加したものの、四半期純利益や減価償却費等により、416億円の収入（前年同期比43億円の収入減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、ジョイ・グローバル社の買収などにより、3,063億円の支出（前年同期比2,817億円の支出増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、上記の買収資金の調達などにより、2,956億円の収入（前年同期は251億円の支出）となりました。これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ307億円増加し、1,506億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本年4月27日に公表しました2018年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動

コマツマイニング（株）ならびにその子会社である Joy Global Australia Holding Company Pty Ltd、Joy Global Longview Operations LLC および Joy Global Underground Mining LLC は、買収により、当社の特定子会社に該当することとなりました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

当連結会計年度より、会計基準アップデート2015-17「繰延税金の貸借対照表上の分類」を適用し、繰延税金資産および繰延税金負債を、貸借対照表上で、非流動項目として表示しています。当社は、同アップデートを当第1四半期連結累計期間より適用し、過年度の期間については遡及修正しておりません。前連結会計年度末における流動区分の繰延税金資産および負債は、それぞれ56,276百万円、421百万円でした。

②①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

（1）四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2017年3月31日)		当第1四半期連結会計期間末 (2017年6月30日)	
	金額（百万円）	構成比 (%)	金額（百万円）	構成比 (%)
（資産の部）				
流動資産				
現金及び現金同等物	119,901		150,650	
定期預金	2,289		2,143	
受取手形及び売掛金	619,265		658,124	
たな卸資産	533,897		687,053	
繰延税金及びその他の流動資産	144,169		119,975	
流動資産合計	1,419,521	53.4	1,617,945	49.7
長期売上債権	313,946	11.8	335,973	10.3
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	30,330		30,237	
投資有価証券	67,716		72,137	
その他	2,424		2,687	
投資合計	100,470	3.8	105,061	3.2
有形固定資産	679,027	25.6	760,439	23.4
営業権	40,072	1.5	174,346	5.4
その他の無形固定資産	61,083	2.3	188,626	5.8
繰延税金及びその他の資産	42,363	1.6	73,130	2.2
資産合計	2,656,482	100.0	3,255,520	100.0

区分	前連結会計年度末 (2017年3月31日)		当第1四半期連結会計期間末 (2017年6月30日)	
	金額（百万円）	構成比 （%）	金額（百万円）	構成比 （%）
（負債の部）				
流動負債				
短期債務	128,452		467,491	
長期債務	89,391		70,791	
－1年以内期限到来分				
支払手形及び買掛金	240,113		279,455	
未払法人税等	25,136		16,033	
繰延税金及びその他の流動負債	217,090		279,946	
流動負債合計	700,182	26.3	1,113,716	34.2
固定負債				
長期債務	190,859		313,019	
退職給付債務	65,247		86,667	
繰延税金及びその他の負債	51,679		68,278	
固定負債合計	307,785	11.6	467,964	14.4
負債合計	1,007,967	37.9	1,581,680	48.6
（純資産の部）				
資本金	67,870		67,870	
資本剰余金	138,285		138,212	
利益剰余金				
利益準備金	45,368		45,801	
その他の剰余金	1,357,350		1,365,949	
その他の包括利益（△損失）累計額	18,682		32,591	
自己株式	△ 50,881		△ 50,730	
株主資本合計	1,576,674	59.4	1,599,693	49.1
非支配持分	71,841	2.7	74,147	2.3
純資産合計	1,648,515	62.1	1,673,840	51.4
負債及び純資産合計	2,656,482	100.0	3,255,520	100.0

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（第1四半期連結累計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第1四半期連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年 6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 2017年 4月 1日 至 2017年 6月30日	
	金額（百万円）	百分比 （%）	金額（百万円）	百分比 （%）
売上高	389,252	100.0	561,211	100.0
売上原価	279,517	71.8	385,048	68.6
販売費及び一般管理費	80,735	20.7	123,164	21.9
その他の営業収益（△費用）	789	0.2	△ 592	△ 0.1
営業利益	29,789	7.7	52,407	9.3
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	1,025	0.3	1,364	0.2
支払利息	△ 1,958	△ 0.5	△ 3,572	△ 0.6
その他（純額）	△ 4,654	△ 1.2	△ 2,105	△ 0.4
合計	△ 5,587	△ 1.4	△ 4,313	△ 0.8
税引前四半期純利益	24,202	6.2	48,094	8.6
法人税等	9,215	2.4	9,504	1.7
持分法投資損益調整前四半期純利益	14,987	3.9	38,590	6.9
持分法投資損益	1,104	0.3	762	0.1
四半期純利益	16,091	4.1	39,352	7.0
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	503	0.1	2,957	0.5
当社株主に帰属する四半期純利益	15,588	4.0	36,395	6.5
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	16.54 円		38.59 円	
希薄化後	16.52 円		38.54 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第1四半期連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年 6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 2017年 4月 1日 至 2017年 6月30日
	金額（百万円）	金額（百万円）
四半期純利益	16,091	39,352
その他の包括利益（△損失）—税控除後		
外貨換算調整勘定	△ 96,312	11,014
未実現有価証券評価損益	△ 3,526	3,046
年金債務調整勘定	723	383
未実現デリバティブ評価損益	1,203	69
合計	△ 97,912	14,512
四半期包括利益（△損失）	△ 81,821	53,864
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	△ 6,352	3,560
当社株主に帰属する四半期包括利益（△損失）	△ 75,469	50,304

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第1四半期 連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年 6月30日	当第1四半期 連結累計期間 自 2017年 4月 1日 至 2017年 6月30日
	金額（百万円）	金額（百万円）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	16,091	39,352
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）への調整		
減価償却費等	26,736	32,828
法人税等繰延分	1,803	8,617
投資有価証券売却損益及び減損	△ 125	97
有形固定資産売却損益	△ 385	△ 14
固定資産廃却損	449	462
未払退職金及び退職給付債務の増減	332	△ 2,001
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	45,886	12,143
たな卸資産の増減	△ 30,035	△ 30,337
支払手形及び買掛金の増減	△ 11,329	2,684
未払法人税等の増減	△ 8,741	△ 9,917
その他（純額）	5,308	△ 12,263
営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	45,990	41,651
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△ 33,936	△ 43,245
固定資産の売却	3,646	9,956
売却可能投資有価証券等の売却	511	2
売却可能投資有価証券等の購入	△ 1	△ 22
子会社及び持分法適用会社株式等の売却（現金流出額との純額）	5,485	—
子会社及び持分法適用会社株式等の取得（現金取得額との純額）	—	△ 273,137
貸付金の回収	3	3
貸付金の貸付	—	△ 61
定期預金の増減（純額）	△ 305	160
投資活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 24,597	△ 306,344
財務活動によるキャッシュ・フロー		
満期日が3カ月超の借入債務による調達	35,694	27,421
満期日が3カ月超の借入債務の返済	△ 42,382	△ 5,574
満期日が3カ月以内の借入債務の増減（純額）	9,200	302,074
キャピタルリース債務の減少	△ 17	△ 12
自己株式の売却及び取得（純額）	△ 2	78
配当金支払	△ 27,354	△ 27,363
その他（純額）	△ 329	△ 937
財務活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 25,190	295,687
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	3,479	△ 245
現金及び現金同等物純増減額	△ 318	30,749
現金及び現金同等物期首残高	106,259	119,901
現金及び現金同等物四半期末残高	105,941	150,650

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年6月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	343,433	11,305	34,514	389,252	—	389,252
(2) セグメント間の内部売上高	1,733	558	261	2,552	△ 2,552	—
計	345,166	11,863	34,775	391,804	△ 2,552	389,252
セグメント利益	26,387	1,885	1,708	29,980	△ 980	29,000

当第1四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	510,998	11,984	38,229	561,211	—	561,211
(2) セグメント間の内部売上高	4,065	5,568	440	10,073	△ 10,073	—
計	515,063	17,552	38,669	571,284	△ 10,073	561,211
セグメント利益	47,984	3,325	2,372	53,681	△ 682	52,999

（注）1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

- a. 建設機械・車両セグメント
掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連
 - b. リテールファイナンスセグメント
販売金融
 - c. 産業機械他セグメント
鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他
2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・ オセアニア	中近東・ アフリカ	連結
前第1四半期連結累計期間	75,077	136,870	54,804	26,897	70,932	24,672	389,252
当第1四半期連結累計期間	84,123	207,787	74,119	41,955	117,927	35,300	561,211

（注）※ 日本及び中国を除きます。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。